

調査対象物質	分析法フローチャート	備考
[3] クレゾール類 [3-1] <i>o</i> -クレゾール [3-2] <i>m</i> -クレゾール [3-3] <i>p</i> -クレゾール	<p>【大気】</p> <p>大気 → 捕集 (Sep-Pak Plus NH₂, 2%L-システイン塩酸塩 約40mg, 0.1L/分×24時間) → 溶出 (アセトニトリル 5mL) → 濃縮 (窒素ハーフ, 1mLまで) → GC/MS-SIM-EI</p> <p>シリンジスパイク添加 フェノール-d₅ 100ng</p> <p>「平成19年度化学物質分析法開発調査報告書」準拠</p>	<p>分析原理：GC/MS-SIM-EI</p> <p>検出下限値： 【大気】 (ng/m³) [3-1] 12 [3-2] 6.8 [3-3] 6.8</p> <p>分析条件： 機器 GC/MS：Shimadzu GCMS-QP2010 又は GC：Agilent6890N MS：JEOL JMS-K9 カラム SUPELCOWAX 10 60m×0.25mm、0.25μm 又は DB-WAX 60m×0.25mm、0.25 μm</p>